



05 数と計算

おさらいの回(1)
[ドラマ編]

盗まれた秘宝 ～最小公倍数～

【今回学ぶこと】

今回はこれまで習ったことの、復習の回です。番組を見ながら、楽しく復習してみましょう。

身のまわりで最小公倍数を使う例は、実はいろいろあります。3日おきであれば、3日をスタートの日として、3日、6日、9日、12日……3の倍数の日。これが4日おきであれば、4日をスタートとして4日、8日、12日……4の倍数の日、両方に共通するのが12日！時間的概念では、よく、この最小公倍数が使われます。

数学監修・執筆

湯浅弘一

倍数

かけ算の九九はすべて倍数です。

たとえば、5の段なら、5、10、15、20、25……

これを5の倍数と言います。

公倍数

2種類以上の倍数の中で共通の数を公倍数と言います。

たとえば、4の倍数は4、8、12、16、20、24、28、32、36、40、44、48……

6の倍数は6、12、18、24、30、36、42、48……

2つの倍数に共通する数12、24、36、48……を、4と6の公倍数と言います。

ちなみに、4と6の公倍数は12の倍数になります。

最小公倍数

公倍数の中で一番小さい公倍数を最小公倍数と言います。

したがって、4と6の公倍数は12の倍数でしたから、4と6の最小公倍数は12になります。